

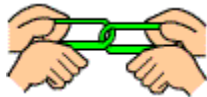
自然体験遊び

触る、匂う、作る、採る、食べる……等、自然と肌で触れ合い、五感で感じる遊びは、子どもの感性と知性を育てます。

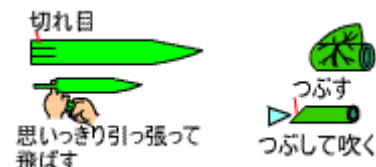
【活動のポイント】

- ① ふだん何げなく見過ごしているのの草花や自然に目を向け、遊びの材料を探します。
- ② 必要最小限だけ利用し、むやみに採らないようにします。
- ③ 大人も子どもも一緒に遊び、そこから話を広げます。草花遊び

松葉相撲



ススキの葉とばし 巻き葉笛



木の葉笛



タンポポ笛



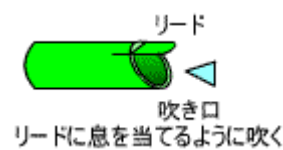
ドングリ笛



スズメノテツポウ 笛



イタドリ笛



タンポポ風車



栗の葉風車



花飾り

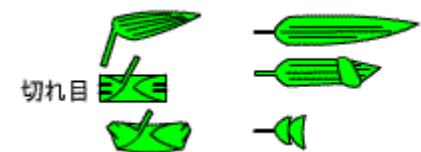


ヤジロベエ

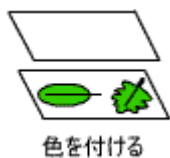
ドングリゴマ

笹舟

笹飴



木の葉刷り



かんぞうのかた つむり



タンポポ人形

エノコログサの 犬

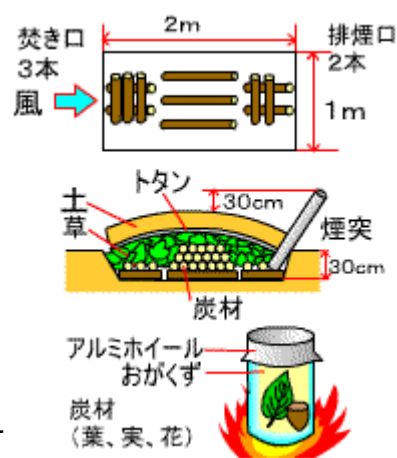


炭焼き

- ① 風の吹き込む方向に長く、穴を掘ります。
 - ・ 2×1×0.3m
- ② 丸太を並べて土台を作ります。
- ③ 炭材を隙間なく積み重ねます。(10×60cm)
- ④ 枝葉や刈り草を10以上の厚さに重ねます。
- ⑤ 草の上にトタン板をかぶせます。
- ⑥ 煙突を取り付け、5cm位土をかぶせます。
- ⑦ 枯れた杉の葉を焚き口に詰め込み、点火します。
- ⑧ 徐々に薪をくべ、火に勢いをつけます。(1～2時間)
- ⑨ 煙突からの煙の勢いが増したら、焚き口を土でふさぎます
 - ・ 通気口を指1～2本分の大きさであけておきます。
 - ・ 釜に穴があいたら、枝葉でふさぎ土をかぶせます。
- ⑩ 煙の色が青から透明に変わったら、焚き口と排煙口を完全にふさぎます。(一晩)
- ⑪ 5～6時間して釜が冷えたら、土を取り除き木炭を取り出します。

※ 草花の炭

草花や果物等を空き缶の中に入れ、周りにおが屑を詰めて口をアルミホイルで蓋をし、遠火で過熱します。



草木染め

- ① 染料の草を水洗いして細かく切り、ホウロウのナベで20分位煮出します。
- ② ふきんかザルで煮汁をこします。
- ③ ハンカチやTシャツを入れて、20分位煮て水洗いします。
- ④ カリみょうばん等の媒染液を溶かした水に、30分位浸し、水洗いします。
- ⑤ もう一度染料のナベに入れて、20分位煮ます。
- ⑥ よく水洗いして、乾かします。

染料に用いる草花……ヨモギ、栗のイガクチナシの実、フジの葉、タンポポの花、ドングリの実、タマネギの皮、ウド、ビワの葉、ギシギシ、イタドリ、ヨメナ、ドクダミ、紅茶、番茶等

媒染液……カリみょうばん、炭酸カリ、酢酸銅、酢酸アルミ、

木綿や麻の前処理……植物繊維の木綿や麻は、大豆の煮汁か2～3倍に薄めた牛乳につけてから乾かします。

【たたき染め】草花を挟んで、上から木づちでたたきます。